

特集「こどもの国周辺！春のお散歩マップ！」

毎月5日発行！
こどもの国系
情報誌！

KUNIMAGA



この町の魅力を歩いて再発見しよう！

¥0

Vol.25
2015年4月号

Youtubeで「国マガ」を検索！
「国マガチャンネル」で散歩ルートの紹介動画を公開しています！



必見！
おまかせの国さんぽ
チャンネル8YUMA 音楽：守道健太郎

この度、われわれは、ユーチューブ上に「国マガチャンネル」を開局しました。レポーターは本誌の4コマ担当、元芸人のおぎぬまX。今回特集したお散歩コースとお店を紹介してくれています！

◆「何も無い春です」
春という出会いや別れが…。いや、そんなセンチメンタルなのは学生ぐらいなもの。多くの人にとっては「何も無い春です」といった感じでしょう。そんな平凡な春を過ごす読者のために、ちよつと冒険気分が味わえるお散歩コースを紹介しましょう。

◆ディスカバー・我が町
マップをご覧ください。スタートは長津田駅です。恩田川方面へ下っていくと田園地帯が広がります。そこから成瀬街道に沿って少し歩くと、今回ご紹介する尾根道への入り口があります。ここを進むと、まずは見どころその①「緑地帯」です。ここでフェイスブック用の写真でも撮って下さい。これ以上の眺めはありません。次に、見どころその②「田園」です。市ヶ尾を舞台に書かれた佐藤春夫『田園の憂鬱』の世界です。そして見どころその③「魂の看板」です。この尾根道は昔から愛着者が多いようです。この全行程は、約3キロ半ぐらいになりますので、消費カロリーはおにぎり2個分ぐらいになります。なので、途中で寄り道して、「なつうめ」でカレードリアを、「MONT」でクリームパンをおおきななく食べましょう。そして、最後に「GRIVE」でこの散歩のメモのコーヒーを一杯。今日の旅路に思いを馳せましょう。最後はその④「こどもの国駅」から二両編成の電車で揺られて、長津田駅に戻ることができます。

◆国マガチャンネル開局！
尾根道散歩を疑似体験

◆「何も無い春です」
春という出会いや別れが…。いや、そんなセンチメンタルなのは学生ぐらいなもの。多くの人にとっては「何も無い春です」といった感じでしょう。そんな平凡な春を過ごす読者のために、ちよつと冒険気分が味わえるお散歩コースを紹介しましょう。

◆ディスカバー・我が町
マップをご覧ください。スタートは長津田駅です。恩田川方面へ下っていくと田園地帯が広がります。そこから成瀬街道に沿って少し歩くと、今回ご紹介する尾根道への入り口があります。ここを進むと、まずは見どころその①「緑地帯」です。ここでフェイスブック用の写真でも撮って下さい。これ以上の眺めはありません。次に、見どころその②「田園」です。市ヶ尾を舞台に書かれた佐藤春夫『田園の憂鬱』の世界です。そして見どころその③「魂の看板」です。この尾根道は昔から愛着者が多いようです。この全行程は、約3キロ半ぐらいになりますので、消費カロリーはおにぎり2個分ぐらいになります。なので、途中で寄り道して、「なつうめ」でカレードリアを、「MONT」でクリームパンをおおきななく食べましょう。そして、最後に「GRIVE」でこの散歩のメモのコーヒーを一杯。今日の旅路に思いを馳せましょう。最後はその④「こどもの国駅」から二両編成の電車で揺られて、長津田駅に戻ることができます。

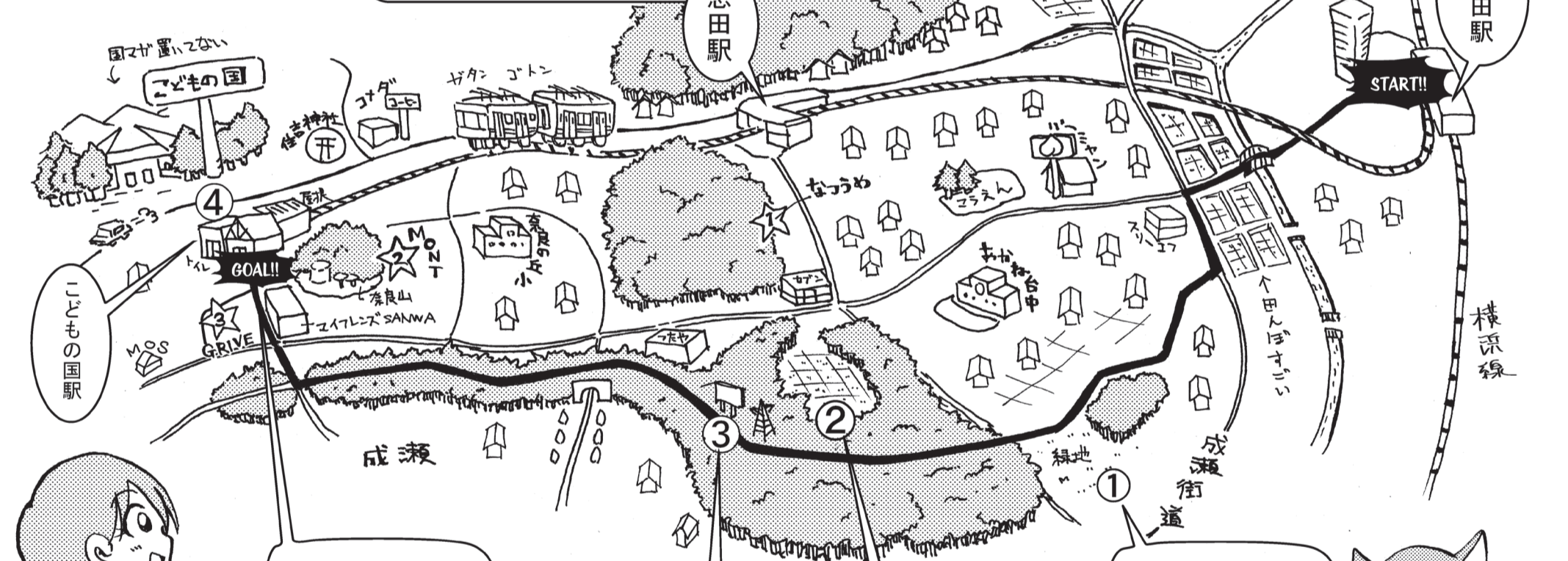
★3 GRIVE
国マガを読みながら本格コーヒーをお手頃価格で

★1 なつうめ
気持ちの良いテラスでカレーが食べられるカフェ

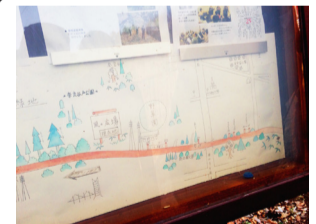
★2 MONT
国マガのオフィシャルパン屋ということではないですか？



国マガ配布店ポイント!!
散歩の途中で国マガをもらおう！



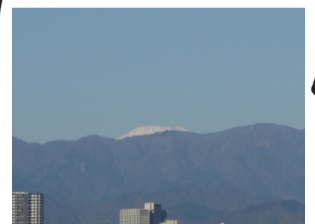
④旅の終わりには新設トイレを利用しよう。見飽きる前に楽しんでおくれ!!



③成瀬側に現れる看板にはこの道を愛する人達の熱い思いが。すみません、何も知らなかった



②どこかのロケ地かと思う程気持ちの良い田園風景が広がっているぞ!



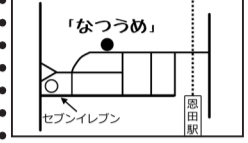
①成瀬を一望できる広い緑地帯だ。晴れている日は富士山も見れるぞ!! ちよつとだけな

これが国マガ調べの見所ポイントだ!!

「散歩と言えは、のぞきである」と、はじめた下書きを編集担当に見てもらったら、「ふつう、散歩は、健康とか気分転換のためにします。のぞきを当たり前のようにならなさい」というコメントをもらった。なるほど、「散歩の達人」と言われて、誰も「のぞきの達人」を連想しない。▼それでも私にとって散歩とはのぞきだ。カン違いする読者もいると思うので言っておくが、ここでの「のぞき」は双眼鏡を持って電柱によじ登るというような犯罪チックなものではなく、風景として視界に入ってきて、見えちゃったぐらいいなライトなものだ。例えば、夜中に住宅街を歩いていて、ふと灯りがついた部屋を見つければ、「どんな生活をしているのかしら」としみじみする、あの感じである。▼エドワード・ホッパーという画家がいたが、コイツも「ライトなのぞき魔」だった。「ナイト・ホークス」という作品をググってみて欲しい。ガラス貼りの小さな食堂が描かれているが、その明るい店内を暗い通り側から見ているという構図となっている。店にはワケありげな者が3人。いや、店主もちよつと影がありそう。たぶん、ホッパーは、暗い観客席からスポットライトがあたる舞台を見るように、この店のドラマをあれこれ楽しく妄想してはたまたま。この作品を初めて見たとき、同じコアな性癖を持つ友達を見つけたような感激があった。▼この辺で「のぞき」的にイチ押しな地区というと、玉川学園前周辺だ。金持ちが住む地域だが、家がただデカいとか装飾がロココ調とか、これ見よがしなものではなく、個性的だが品のある家が続く。なかでも屋根一面に草が植えてある不思議な家を見つものぞき見していた。ときには、誰か出てこないかと少し立ち止まったことさえあった。後に大学の講義で、この家の主が、芥川賞作家で前衛芸術家の赤瀬川原平であることが判明する。講義後、教授にその興奮を伝えると、「たまに変なヤツが家の前に立ってるって赤瀬川さん言ってたなあ」と笑っていた。見られていたのは、私の方だったのか。▼赤瀬川原平は今年の初めに亡くなった。哀悼の意を捧げると共に、散々のぞかせてもらいましたと御礼が言いたい。

コラム
引込線
育ち志村
ライトなのぞき魔

カレー&カフェ「なつうめ」



営業時間：11時～18時
定休日：木金
TEL：09044565192

◆隠れ家的なお店

今回はこどもの国駅のお隣、恩田駅にあるカレーが自慢のカフェ「なつうめ」を紹介。恩田駅から歩いて8分。住宅街の中にお店はあります。通りからは見えませんが、小さな看板を頼りに小道を入ると自宅を改装した素敵なオープンテラスのお店に到着。お店を切り盛りするのは、夏目洋子さん。はつら

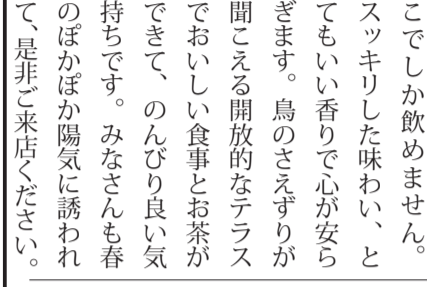
つとして若々しい奥様です。お店の名前はこの辺りの夏目さんたちが、明治以前は「なつうめ」と名乗っていたことから付けたそうです。気になるカレーは4種類。旦那様のしげるさんの畑で採れた野菜を使った「しげるちゃんカレー」、ベジタリアンのための「ビーガンカレー」、人気の「カレードリア」、それから「日替わりカレー」があります。どれも普通サイズは500円、大盛にしても600円！ サフランライスに野菜と肉の旨味あふれるルー。ほどよくスパイシーで何杯でもおかわりしたくなります。

◆日本一周の旅！

「なつうめ」のオープン前は去年の3月。きっかけは、亡くなった洋子さんのお母様の言葉でした。「あと10歳若くて60歳だったらカレー屋をやりたいかたねえ」。この言葉がずっと頭に残っていて、ご自身が60歳になる前に一念発起、背中を押すお友達の声もあり、お店を始めることになりました。そんな洋子さん、次なる野望は「日本一周の旅」。60歳になったら自分で車を運転して日本中をぐるりと一周する計画をしているそうです。いやはや、なんともすごい行動力。というわけで、残念ながら2年後にはいったんお店を閉める予定になっています。

◆陽だまりカフェ

カフェですので、飲み物やデザートもいただきます。食材や手作りにこだわったデザートは、シフォンケーキ、さつまいもプリン、チーズケーキの3つ。飲み物はハーブティーがオススメ！ 山梨県の小淵沢在住のご友人が自然栽培で育てたハーブ20種類以上をブレンドしたオリジナルティーはここでしか飲めません。スッキリした味わい、とてもいい香りで心が安らぎます。鳥のさえずりが聞こえる開放的なテラスでおいしい食事とお茶ができて、のんびり良い気持ちです。みなさんも春のぼかばか陽気に誘われて、是非ご来店ください。



短編小説

二の母の記憶

安原マヒロ

散歩道

深夜の山道を散歩することが好きだ、と人に言う、間違いない。怪しまれるだろう。齢五〇にもなる男が、週に一度は近所の山の尾根道を、それも人々が寝静まった時間にうろついているなんて。しかし、こうして山の中を歩いていると、自分が戻ってくる気がするのだ。生産管理の現場でエクセルとにらめっこする日々では味わえない、生き物の感覚。町から山道に入ると最初は何も見えないが、次第に木々の輪郭がはつきりして、その間から覗く月の明るさに驚く。落ち葉が足下で砕ける音や、土の匂い、よくわからない鳥の声、自分というフィルターが、そういうものを捕らえられることを思い出す。

夜空に高くそびえた、赤色灯を点滅させている鉄塔の下が、私のささやかな休憩場所だ。ここで、山道の入口にある自動販売機で買った缶コーヒーをあけるのだ。プシュ。

「今日は冷えるね、花冷えだ。風邪引くなよ？」
プシュ、を合図にしたように、声をかけられる。

「うん、冬物のコートをまた引っぱり出してきたから大丈夫だ」
私は白い、もやもやした声の主に答える。たまに木にへばりついていた、水たまりに落ちていたりするけど、基本的には空中にぼんやりと滞留している。

「俺が自殺した日もね、こんくらい寒い春の日だったね」
「去年も一昨年もそれ聞いたよ」

「白いもやもやが心なしか縦に広がった感じがした。」
「おいおい、なんだよそりゃ、慣れちまつてるなあ。初めて俺が声をかけたときは死ぬほど飛び上がったたくせに」

「そりゃ驚くでしょ。深夜の山の中でいきなり話しかけられたら」
「心配して声かけてやったんだよ。お前も俺みたいに、仕事で追い詰められて、山の中で首吊つて死のうとしてるんじゃないかって」
私は、彼の言葉に少し黙り込む。その指摘は、あながち間違っていない。

「まあこうして散歩しながら君と話すことで、なんとかやってるよ」
「白いもやもやはふわふわと私の視線の高さくらいまで上がった。」
「俺も、あんたみたいな奴と会えてたら、まだ生きてたかも知れねえな」

「どうだかね。今は今で、君もずいぶん楽しそうじゃない」
「そうだな、体がなくなると自由だからな。感覚が研ぎ澄まされる」
なるほど、私の散歩と同じだ。私は毎度の深夜の散歩で、彼のよう一度死んでみるのかも知れない。ふふ、と思わず声が出た。

「さて、明日も仕事だ。そろそろ帰るよ。あんまり長居すると私もそっちの世界の住人になっちゃうからな」
「嫌みなやつだなあ。ま、生きようが死のうが、大事なものは気持ちよんじや、また来いよ」

私はどこにするでもなく、虚空に手を挙げて歩き出した。歌い出した彼の鼻歌がだんだんと小さくなる。私の夜の散歩は、まだまだ止められそうにない。



国マガ年鑑発売中!
★2013～14年の『国マガ』の歩み『国マガ年鑑』! 『Cooonie』『GRIVE』『昭和書房』『スリーエフ・こどもの国』『MONT』で販売中!

特製ステッカーがもらえる! 『国マガ』の感想アンケート! QRコードからアクセス!

国マガを置いていただける店舗を随時募集
お店を誌面に紹介お問い合わせは
誌面末部のメールアドレスまで!

STAFF

加藤シュンスケ (代表) 会社員/イラストレーター (@kato_two)
国マガでは過去にバスマップ、お祭りマップと掲載し、今回で三回目。このマップ企画、大変骨が折れるのですが、毎回自分が言いだしっぺでした…何でしょう、自分のマップ好きは。

サリー志村 編集者 (@shimamuramasari)
毎年、こどもの国駅の桜は、夜にコンビニで缶チューハイとやきとりを買い、立ち呑みで鑑賞します。何だか恥ずかしいので、国線の終電後にひっそりやっています。

オオキ 長男 (@OhQute)
「村上ですが」という件名のメール、誰かと思ったら村上春樹からでビックリ。質問サイトの返事がきただけなんですけどね。こどもの国についての質問、気になる人は国マガのフェイスブックでチェック!

おぎぬまX 元芸人 (@oginuma_x)
ロケ前に原宿の美容室で髪を切ってもらい「おぎぬまXって漫画だとマヌケそうな顔してるけど実際はキリッとするのね…」と言われたかたのですが、あちこちで「君がおぎぬまXか! 漫画とそっくりだね!」と言われました…しよぼぼっ!

安原マヒロ ウェブ編集/ライター (@MahirOrihaM)
オオキと一緒にこどもの国の駅前で花見をしていたら、ぼつぼつ知り合いに会いました。なんだか駅前の桜にみんなが引き寄せられてくるようで、そういうの昂揚感ありますよね。

★誌面広告、スタッフへのお仕事の依頼も受付中!

こどもの国系情報誌「国マガ」Vol. 25
発行日 2015年4月5日
編集人 加藤シュンスケ 安原マヒロ
連絡先 kunimaga920@gmail.com
Facebookにてバックナンバー配信中! → <https://www.facebook.com/kunimaga>

Facebook twitter
Twitter ID @kunimaga920